

2022年度あかしSDGsパートナーズ実績報告書

様式 3

No. 72 明石市立二見小学校

記入日 2023年(令和5年)6月8日

1. 2030年までに達成したいこと	2030年に向け継続的にSDGsを意識した取組を児童会中心に全校児童、教職員で取り組む。多様性を認め合いながらお互いの人権を尊重し、仲間への思いやりをもった学校を実現する。また、自然環境へも配慮し、地域との連携も図り、本校に誇りを持てるようにする。	3. 関連するゴール									
2. 取組の概要	(1)すべての人が健康で福祉を受けられる世の中を考えることで、自分たちができる活動を児童会中心に呼び掛け、意識の向上を図る。 (2)多様性を認め合いながらお互いの人権を尊重し、いじめを絶対に許さず温かい声を掛け合うことができる、過ごしやすい学校づくり。										
			<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

4. 主な取組の達成状況								
No.	取組内容	①目標値		②当初値		③実績値		達成度
		2030年度	2021年度	2022年度	2023年度			
(1)	・ペットボトルキャップやプルトップを回収し、フクチンや車いすを寄付する。 ・赤い羽根共同募金の取組に参加し、募金を呼び掛ける。	活動の参加人数 (年)	250 人	190 人	200 人		17%	
(2)	・児童会中心になり、「心ほかぼかカード」(誰かに優しくされてうれしかったことを書き、放送にて紹介)に取り組む。 ・5、6年でLGBTQ+/SOGIEについての講演を聞き、学ぶ。	ぼかぼかカード記入枚数 (年)	300 枚	200 枚	210 枚		10%	
(3)							#DIV/0!	

5. 取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・児童会からの呼びかけを継続することで、児童の意識が高まり、取組に参加する児童が増えた。また、学校での取組が地域の方々にも伝わり、ボトルキャップやプルトップを提供いただく等、活動を支援いただいた。 ・「心ほかぼかカード」は、本校の特色として位置づいてきている。 	問合せ先	団体名：明石市立二見小学校 電話：078-918-5820 メール：futam-es@edi.akashi.hyogo.jp 担当者：校長 古川 薫
---------	---	------	---

6. 今後の課題と取組	<ul style="list-style-type: none"> ・全教職員の意思統一を図り、また、児童の意識の格差を解消することに努め、学校全体で取組の推進が必要である。また、地域と一体となって取り組めるような広報の工夫が必要である。 ・ボトルキャップの回収業者が撤退し、取組を見直さざるを得ない。連携する団体、企業等の積極的な支援も重要となる。 	連携希望	なし
-------------	--	------	----